

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15106008	マルチスケール解析に基づく構造-地盤連成系の長期性能予測プラットフォームの開発	前川 宏一（東京大学・大学院工学系研究科・教授）	A
<p>従来別個に捉えられていたコンクリート構造と地盤構造の挙動を、微視的な視点から巨視的な視点にいたる連続的な変形挙動として把握しうる解析システムを構築したことは学術的に高く評価できる。</p> <p>個別の課題に対する研究成果は国際的学術誌、国際会議等に数多く発表され、多くの学会賞を受賞しており世界的なレベルにあると判断できる。</p> <p>中間評価で指摘された事項にも真摯に対応しており、特に実務への普及性・波及性の観点、平易な説明による広い使用への配慮の観点についての指摘に対して、実構造物への研究成果の適用、ベンチャー企業の立ち上げ、英文でのマニュアルの刊行など具体的な成果を挙げている。</p> <p>以上のように、期待どおりの研究が進展したと評価できる。</p>			